



2022年2月期第3四半期決算説明資料

株式会社ジェイグループホールディングス

(3063)

2022年1月28日



1. 連結決算概要

業績の概要	4
連結貸借対照表概要	5
店舗の営業状況	6
セグメント別業績概要	7
既存店収益状況	8
店舗数の推移	9

2. 今後の取り組み

今後の取り組み	11
日本政策投資銀行(DBJ)への種類株式の発行	12
『守りの取り組み』進捗状況	13
店舗ポートフォリオの改善	14
新規事業の開発	17
エリアマーケティングの推進	20
不動産の流動化	21
今期の業績見通し	22
株主還元について	23
店舗でのコロナ対策(参考資料)	24



1. 第3四半期 連結決算概要



売上高:3,230百万円、営業損失:1,509百万円、純損失:71百万円

昨年度不動産3件を売却した反動もあり、連結売上高は前年対比54.2%へ減少。飲食事業では、緊急事態宣言などを受けた各自治体からの休業・時短要請に従い、既存店の売上高前年比は81.7%となる。尚、継続しているコスト抑制策と時短要請協力金などの助成金により当期純損失は71百万円に圧縮された。

	2021年2月期 第3四半期		2022年2月期 第3四半期		前年同期比 (%)
	実績(百万円)	構成比(%)	実績(百万円)	構成比(%)	
売上高	5,961	100.0	3,230 ^①	100.0	54.2
売上原価	2,833	47.5	1,635	50.6	57.7
売上総利益	3,128	52.5	1,595	49.4	51.0
販売管理費	4,100	68.8	3,104	96.1	75.7
営業損失	△972	△ 16.3	△1,509	△ 46.7	-
営業外収益	134	2.3	110	3.4	82.3
営業外費用	93	1.6	147 ^②	4.6	158.8
経常損失	△931	△ 15.6	△1,546	△ 47.9	-
特別利益	519	8.7	2,423 ^③	75.0	466.4
特別損失	1,288	21.6	1,052 ^④	32.6	81.7
税金等調整前 当期純損失	△1,699	△ 28.5	△175	△ 5.4	-
親会社株主に帰属する 当期純損失	△1,913	△ 32.1	△71	△ 2.2	-

- ① 昨年度不動産3件を売却した反動もあり、連結売上高は前年対比**54.2%**へ減少。飲食事業単体では緊急事態宣言などを受け各自治体からの休業・時短要請により前年対比売上高**72.6%**となる。
- ② 不動産事業における長期借入金に付随する**金利スワップ契約の評価損44百万円**を計上。
- ③ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取組として実施した臨時休業に伴う時短要請協力金の**助成金等2,422百万円**特別利益の計上。
- ④ 感染症の拡大防止の取組として、店舗の臨時休業や営業時間短縮等の対応に起因する費用及び損失等**951百万円**を特別損失に計上。
(コロナ特損)

連結貸借対照表概要



(百万円)	2021年2月 期末	2022年2月 第3四半期	(百万円)	2021年2月 期末	2022年2月 第3四半期
資産の部			負債の部		
流動資産	3,413	2,981	流動負債	3,210	3,136
現金及び預金	2,320	1,445	買掛金	49	222
売掛金	66	248	短期借入金 ※1	1,393	1,202
たな卸資産	163	168	その他	1,767	1,711
未収入金	649	937	固定負債	7,506	7,238
その他	213	181	長期借入金 ※2	6,142	5,965
固定資産	7,508	7,821	その他	1,364	1,272
有形固定資産	5,735	6,206	負債合計	10,717	10,374
建物及び構築物	2,568	2,285	純資産の部		
土地	2,858	3,620	株主資本	149	411
その他	308	300	資本金	1,594	50
無形固定資産	433	400	資本剰余金	1,518	3,397
投資その他の資産	1,339	1,214	利益剰余金	△2,887	△2,960
繰延資産	9	5	自己株式	△76	△76
資産合計	10,931	10,809	その他の包括利益累計額	△12	△45
			新株予約権	1	0
			非支配株主持分	75	68
			純資産合計	214	434
			負債純資産合計	10,931	10,809

※1：一年以内返済予定長期借入金を含む

※2：資本性劣後ローン14億円を含む

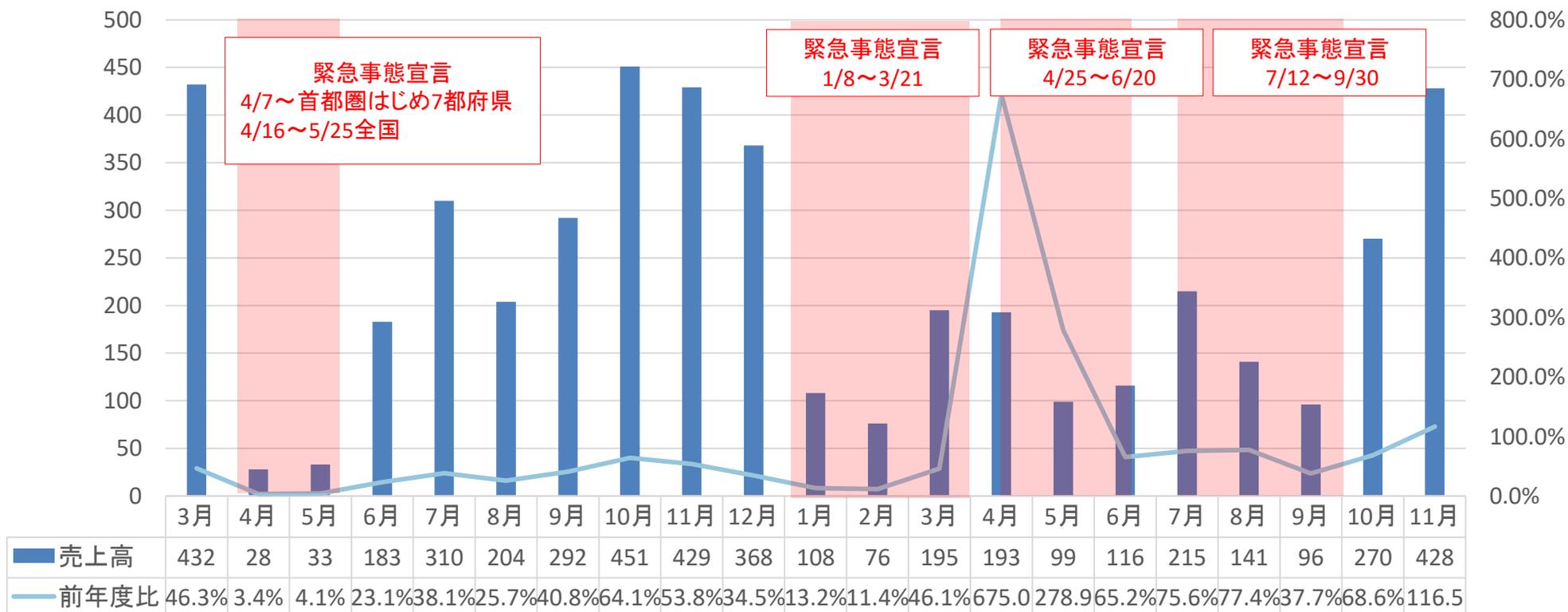
店舗の営業状況



	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
総店舗数(直営)	143	137	137	130	130	126	126	127	126	123	122	121
通常営業店舗数	27	0	0	11	8	7	8	11	1	1	99	108
(通常営業店舗/総店舗)	18.9%	0%	0%	8.5%	6.2%	5.6%	6.3%	8.6%	0.7%	0.8%	81.1%	89.2%
営業短縮店舗数	51	41	29	81	33	26	68	68	32	32	3	2
休業店舗数	66	118	108	38	88	93	50	48	93	90	20	11

既存店売上高

(百万円)



※時短・休業店舗も含む

セグメント別業績概況



＜飲食事業＞

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、営業自粛要請により営業時間短縮、休業を行い、売上高は**前年対比72.6%**。

＜不動産事業＞

テナントビル「EXIT NISHIKI」や「jg金山」など賃貸収入が安定的な収益となるも、昨年度不動産3件を売却した反動により売上高前年同期比43.0%へ減少。

＜ブライダル事業＞

婚礼施工組数や受注件数に一定の回復が見られるも新型コロナウイルス感染症の影響から婚礼施工前年同期比で売上高85.2%。

＜その他の事業＞

新型コロナウイルス感染症の影響で卸売関係の取扱高減少。

(百万円)

		2021年2月期 第3四半期	2022年2月期 第3四半期	前年同期差額	前年同期比 (%)
飲食事業 居酒屋、レストラン等での 飲食サービスの提供	売上高	2,783	2,020	△763	72.6%
	営業利益	△1,447	△975	471	-
不動産事業 不動産の賃貸・管理業務等	売上高	3,913	1,684	△2,229	43.0%
	営業利益	1,168	122	△1,045	10.5%
ブライダル事業 挙式・披露宴サービスの提供	売上高	212	180	△31	85.2%
	営業利益	△80	△34	45	-
その他の事業 広告代理業、卸売業等	売上高	147	238	91	161.6%
	営業利益	△11	△40	△28	-
調整額	売上高	△1,095	△893	202	-
	営業利益	△601	△581	20	-
合計	売上高	5,961	3,230	△2,730	54.2%
	営業利益	△972	△1,509	△536	-

既存店収益状況



全既存店売上高の対前年同期比



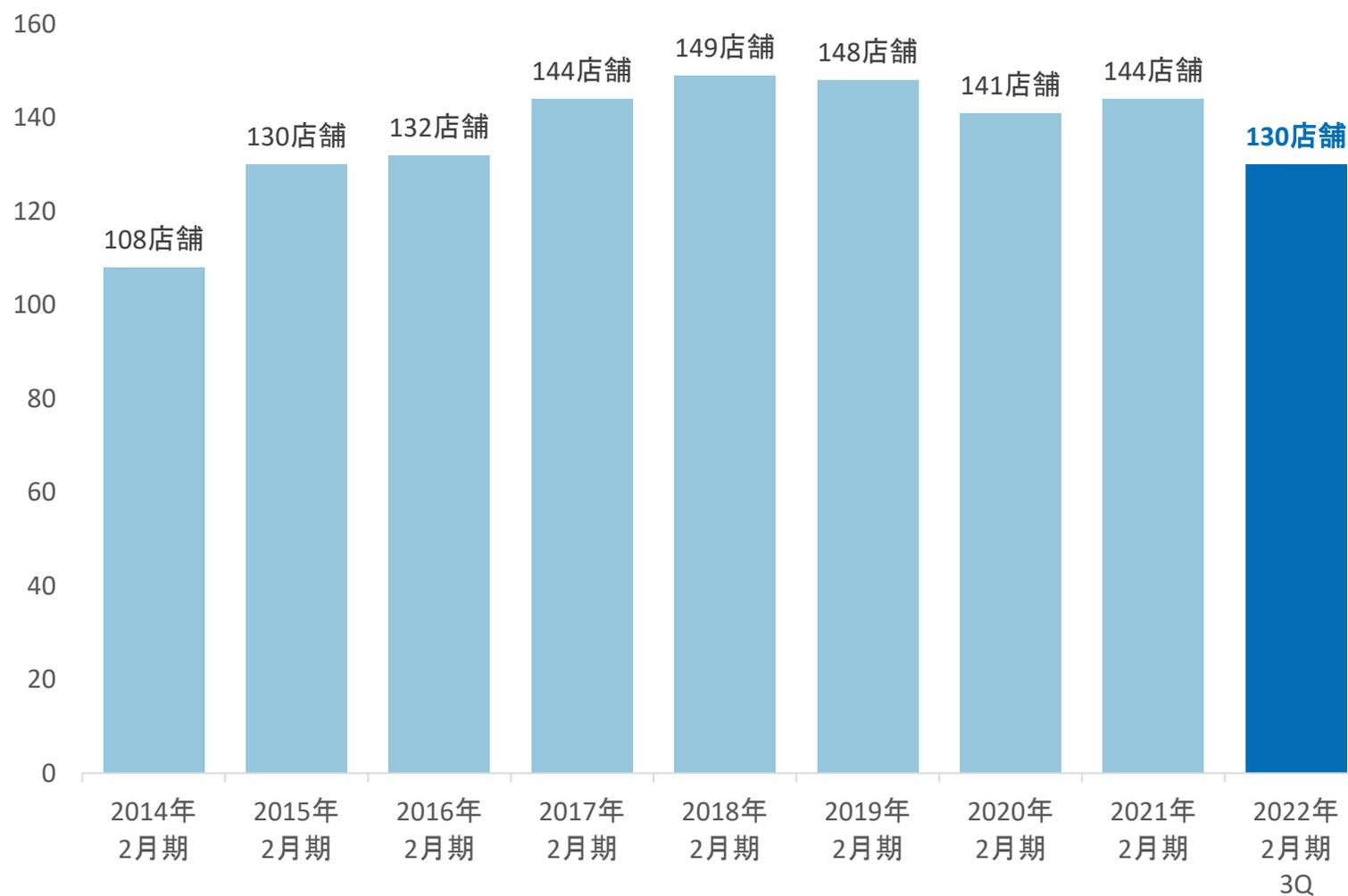
居酒屋業態既存店売上高の対前年同期比



		2020年	2021年		2021年2月期 実績	2021年										2022年2月期 第3四半期 実績
		12月	1月	2月		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		
居酒屋業態 84店舗 (11月末時点)	売上高前年同月比	30.9%	8.7%	6.4%	27.7%	37.2%	689.1%	218.5%	47.1%	64.2%	63.5%	23.4%	62.7%	119.6%	70.7%	
	来店客数前年同月比	32.8%	11.6%	11.9%	31.1%	43.2%	688.8%	445.0%	84.0%	89.8%	99.5%	51.5%	77.4%	134.6%	94.1%	
	客単価前年同月比	94.0%	74.9%	53.4%	88.8%	86.1%	100.0%	49.1%	56.0%	71.6%	63.8%	45.4%	80.9%	88.9%	75.1%	
レストラン業態 6店舗 (11月末時点)	売上高前年同月比	57.7%	35.6%	36.3%	37.6%	112.1%	593.1%	337.1%	128.4%	125.5%	127.0%	106.1%	107.0%	111.4%	134.0%	
	来店客数前年同月比	61.4%	40.0%	42.8%	42.6%	118.3%	404.4%	296.1%	114.7%	124.8%	131.1%	103.5%	99.0%	101.9%	127.5%	
	客単価前年同月比	93.9%	88.9%	84.7%	88.3%	94.7%	146.7%	113.9%	112.0%	100.5%	96.9%	102.5%	108.1%	109.3%	105.1%	
カフェ業態 8店舗 (11月末時点)	売上高前年同月比	59.2%	45.3%	53.4%	49.7%	78.2%	781.1%	543.8%	118.0%	109.4%	86.6%	54.7%	67.9%	87.2%	103.1%	
	来店客数前年同月比	64.6%	49.3%	55.6%	53.9%	81.0%	817.4%	579.3%	126.3%	116.3%	84.4%	54.7%	67.3%	91.3%	106.1%	
	客単価前年同月比	91.7%	92.0%	96.0%	92.2%	96.6%	95.6%	93.9%	93.4%	94.1%	102.6%	100.1%	101.0%	95.4%	97.2%	

※既存店基準:開店日より24ヶ月を経過した店舗を対象としております。

2022年2月期第3四半期時点で
新規出店7店舗・リニューアル12店舗・退店21店舗となり
74業態、130店舗体制となる





2. 今後の取り組み



方針	重点施策
経営基盤の強化へ 『守りの取り組み』	<ul style="list-style-type: none">◆ 日本政策投資銀行(DBJ)への種類株式の発行◆ 店舗運営コストの改善◆ 本社経費の削減
コロナ禍以降の売上確保へ 『攻めの取り組み』	<ul style="list-style-type: none">◆ 店舗ポートフォリオの改善◆ 新規事業の開発◆ エリアマーケティングの推進

日本政策投資銀行(DBJ)への種類株式の発行

日本政策投資銀行(DBJ)が組成した

DBJ飲食・宿泊支援ファンド投資事業有限責任組合を引当予定先とする

①第三者割当による種類株式の発行、並びに

②資本金の額及び資本準備金の額の減少について

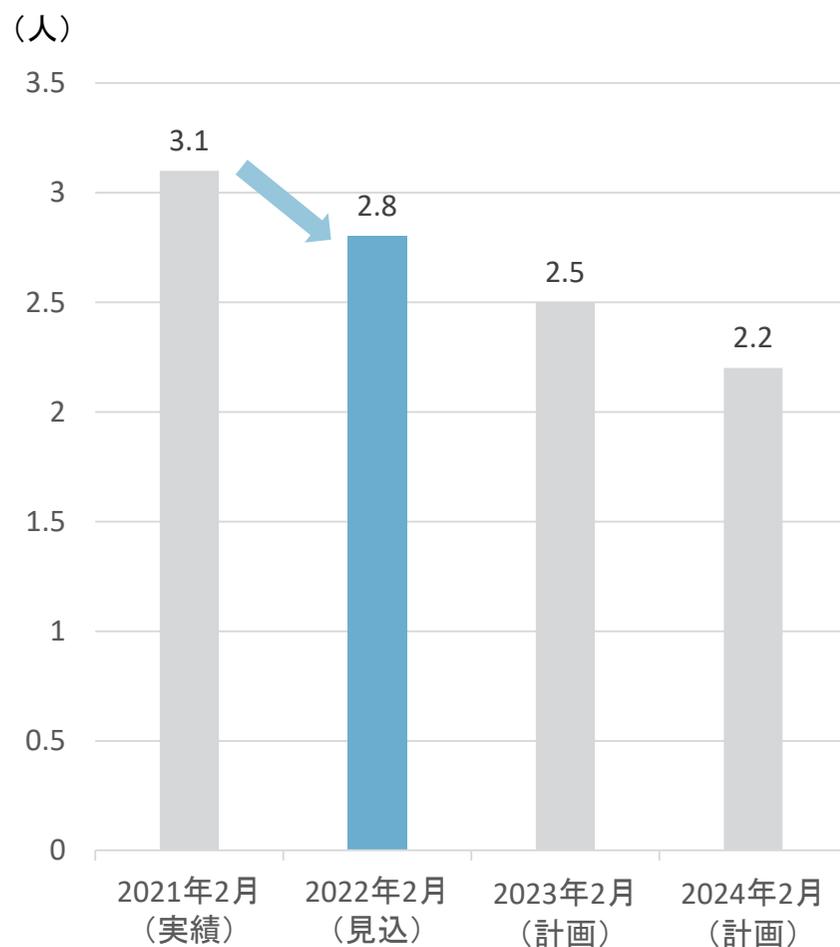
2022年2月24日開催予定の臨時株主総会において付議いたします。

第三者割当による種類株式の発行	
払込期日	2022年2月28日
発行新株式数	B種種類株式1,000株
発行価額	1株につき1,000,000円
調達資金額	10億円
割当予定先	DBJ飲食・宿泊支援ファンド投資事業有限責任組合

店舗運営コストの改善

正社員数の削減 (2020年2月期 対 2024年2月期)

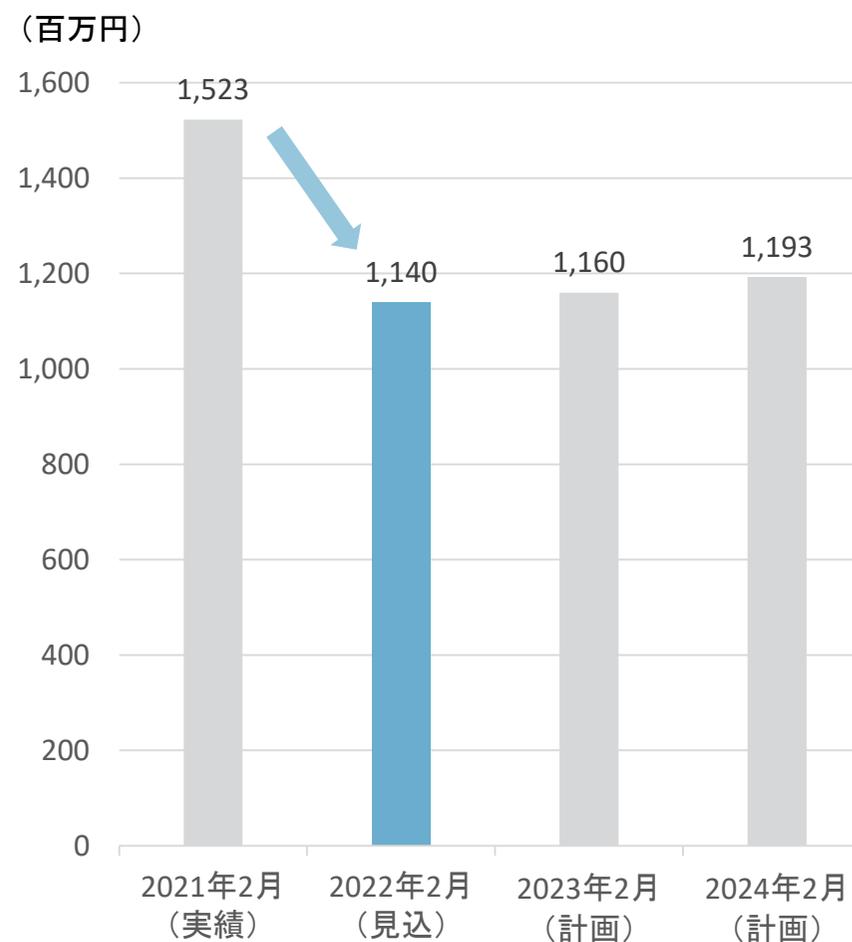
- ✓ 1店舗当たりの社員数削減3.1名/店→2.2名/店
- ✓ 採用抑制による社員数の自然減



本社経費の削減

諸経費の削減 (2020年2月期 対 2024年2月期)

- ✓ 間接部門人員削減 1.4億円/年
- ✓ 2024年度(対2020年度比)利益貢献3.3億円想定



認識する課題

- 売上の大部分を占めていた宴会がアフターコロナも完全に回復することは厳しい
- ビジネス街での利用機会の低下
- 大人数の飲み会から親しい友人・家族など少人数での日常使いをいかに取り込むか

今後の店舗展開のキーワード

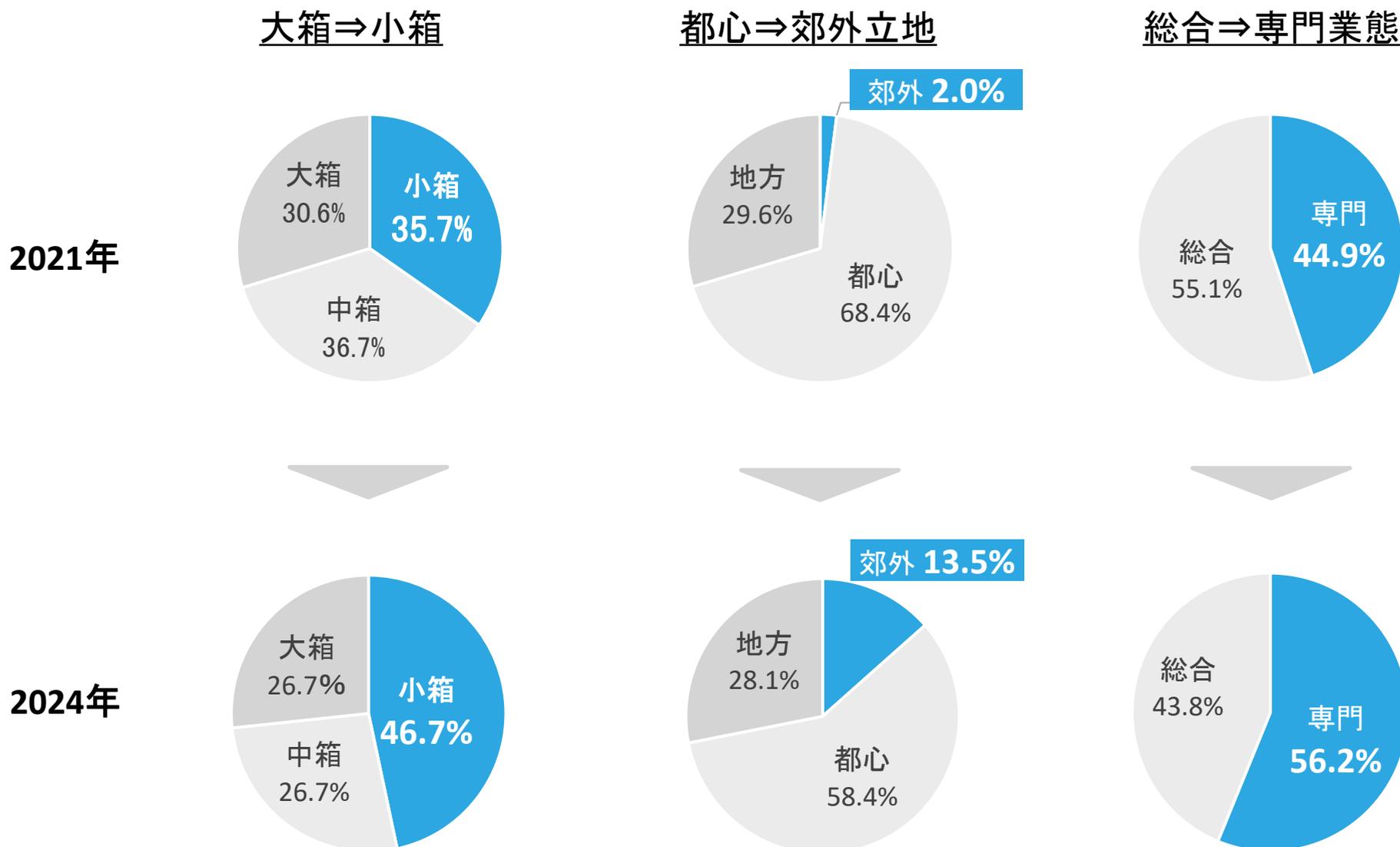
小型店舗	郊外店舗	専門業態
✓ 脱大宴会依存	✓ 住宅街での日常使い需要に対応	✓ 脱総合居酒屋
✓ 友人・家族ら少人数での利用	✓ 繁華街より安価な家賃	✓ 脱酒類業態
✓ 投資効率の向上		✓ 目的来店促進

アフターコロナに対応するため戦略的に新店・リニューアル・閉店を実施

店舗ポートフォリオの改善



中長期的に店舗ポートフォリオの見直しを行い、収益性改善を図る



※60坪以上は大箱、40～60坪は中箱、40坪未満は小箱とした。都心は東京都/名古屋市の商業地域、郊外は左記の住宅立地、地方はその他(主に地方都市)と定義。
 郊外の例: 名古屋市 地下鉄東山線沿線(池下～藤が丘)、大曾根等、東京都 JR中央線沿線(中野、吉祥寺)、武蔵小杉、町田等

総合居酒屋から専門性の高い業態

ほかの野菜巻りも、くたわり酢
きばくもん
 KIBAKUMON
 江戸・美作 焼き・焼き 餃子
きじょうもん
 KIJOMON



マツダ・日本酒
光蔵
 十八バ
 マツダ・日本酒
吟醸マダロ



大阪王将
 OSAKA OHSHO



若者向けの業態

サーモンパンチ



寿司と串とわたくし



メジマイキック



鶏が好きだと
酒びたい



新規事業の開発



ブランド業態のFCビジネス

- ✓ 認知度の高いブランド食事業態FCを開始
- ✓ 住宅地・郊外を中心に今後展開
- ✓ 大阪王将FC3号店を3月にオープン(予定)



アスナル金山店
2021年6月4日オープン



黒川店
2021年8月31日オープン
大津SA店
2021年11月1日オープン
池下店
2022年3月オープン(予定)

高速道路SA事業へ参入

- ✓ 名神高速道路下り線大津SAの一括運営
- ✓ フードコート・レストラン・テイクアウト・土産ショップを展開



名神高速道路下り線大津SA
2021年10月1日運営開始

新規事業の開発



ゴーストレストラン

- ✓ 2020年12月より61店舗53業態を展開
- ✓ 21年3月-11月 売上105百万円(実績)
21年3月-22年2月 売上135百万円(見込)



物販

- ✓ 博多かわ屋物販

EC直販(21年3月-11月) 売上6.5百万円(実績)
催事(マルイ溝口・新宿高島屋) 売上5.2百万円(実績)



業務受託・派遣業の開始

- ✓ 2021年3月 子会社として株式会社ジェイキャストを設立
- ✓ 野球部員を中心に外食企業・介護サービス業・娯楽サービス企業へ52名派遣 4.6百万円/月



- ✓ コンビニ販売

博多かわ屋 スナック菓子
3月~6月ローソンにて全国販売

サーモンパンチ 3種(パスタ・サンドウィッチ・おにぎり)
21年11月-12月 中部地区のローソンにて発売

サーモンパンチ × LAWSON



プライベートサウナ



サウナ師匠 秋山大輔氏プロデュース

プライベート完全個室 フィンランド式サウナ

栄から徒歩1分のEXIT NISHIKIビルに
プライベートサウナを2月11日グランドオープン

サウナプロデューサーとして数々のサウナ施設を手掛けるサウナ師匠こと秋山氏プロデュース「ロウリュアロマ × ネオンコーディネート」をプライベート完全個室で楽しむことが可能

特徴

- 誰にも邪魔されない自分だけの「セルフロウリュ」7パターン
の光と香りのサウナを体感
- チラー付きオーバーヘッドシャワーは10℃をキープしリセット！
都会のルーフテラスでととのう外気浴
- 男性専用個室・女性専用個室完備。他人に気を使わずにサウ
ナで横になったり自由な自分だけの時間を堪能

エリアマーケティングの推進

同一エリアに多業態をドミナント展開している強みを最大限活かし、顧客の店舗間の回遊・囲い込みを図る

飲み放題サブスク

- ✓ 顧客回遊の促進のため飲み放題サブスクによるリピート顧客の獲得
- ✓ 名駅・栄・金山を中心に施策を実施、東京圏へ展開拡大予定

CRMの推進

- ✓ SNS(LINE等)やアプリを使用したCRMの推進を実施
- ✓ 顧客を店舗に呼び込む情報発信、サービスの提供

保有する商業ビル・レジデンスを流動化及び有効活用を進める

保有不動産



J-Group 本社・新九



ジェイテル名駅



EXIT NISHIKI



JG金山



ジュール則武

年月	売買	不動産
2019年2月	売却	J-Growth 大曾根
2020年1月	売却	G-SEVENS 刈谷
2020年7月	売却	ダイヤモンドウェイ
2020年7月	売却	物流センター
2020年7月	売却	ジュール広川
2021年4月	取得	J-Group本社ビル
2021年9月	売却	ジュール亀島

今期の業績見通し



業績予想について

新型コロナウイルスの影響の見通しが立たず、業績予想数値について合理的な算出が困難であることから、未定とさせていただきます。

(百万円)

	2021年2月期 通期実績	2022年2月期 業績予想	前年同期比 (%)
売上高	6,700	未定	—
営業利益	△1,543	未定	—
経常利益	△1,465	未定	—
親会社株主に帰属する 当期純利益または純損失	△2,352	未定	—
配当金 ※	中間 1.5円 期末 無配	中間 無配 期末 未定	

※2022年2月期の配当につきましては、新型コロナウイルスの影響が現時点では先が見えず、合理的な配当予想の判断が困難なことから、現時点におきましては未定とします。

株主優待制度について

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、より多くの皆様に事業への一層のご理解をいただくことを目的とし、**株主優待制度は引き続き実施いたします。**

また、株主様のご利用機会確保のため2021年10月31日を有効期限とする株主優待券を7ヶ月延長し2022年5月31日までとさせていただきます。

所有株式数	贈呈内容
100株以上200株未満	株主優待御食事券2,000円分(1,000円券×2枚)を年2回
200株以上600株未満	株主優待御食事券4,000円分(1,000円券×4枚)を年2回
600株以上1,000株未満	株主優待御食事券8,000円分(1,000円券×8枚)を年2回
1,000株以上	株主優待御食事券12,000円分(1,000円券×12枚)を年2回

代替商品のご案内

- 4,000円コース
猿Cafeブレンド
カタログギフトA
- 8,000円コース
黒豚さつまセット
カタログギフトB
- 12,000円コース
黒豚さつま豪華セット
カタログギフトC



がんばろう 日本!
私たちが「安全・安心・おもてなし」で
頑張ります!
株式会社ジェイプロジェクト一同



当店はスタッフの
マスク着用を義務化
しております



出勤前の検温も
義務化しております

当店はお客様に
消毒をお願いしております



当店は
吸排気ダクトによる
換気を徹底しております



当店は全てのテーブル、
椅子などの除菌を
徹底しております



【IRに関するお問い合わせ先】
株式会社ジェイグループホールディングス
管理本部 IR担当
TEL:052-243-0026

当資料は株式会社ジェイグループホールディングスが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。

複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や

債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。